



生涯学習 (Lifelong Learning)

Niigata

<http://www.lalanet.gr.jp/>

ラ・ラ・ネット

検索



No.138

令和元年7月11日発行
新潟県立
生涯学習推進センター



地域と学校の連携・協働に係る研修会

本研修会は、社会に開かれた教育課程の実現や地域学校協働本部の一層の推進に向け、学校・地域・家庭の連携・協働を推進するために必要となる基本的な事項や資質・能力の向上や、管理職や行政担当者としてのリーダーシップとマネジメント力の向上を目指すものです。また、コミュニティ・スクールの趣旨や取組等について、導入市町村の実践紹介や情報交換を通して学び合い、制度の周知と理解を深め、取組の一層の充実を図ることを目的としています。

平成26年度にスタートし6年目となる本研修会は、昨年度末に見直しを行い、より多くの教職員や行政担当者のニーズに応じたものにするため、「地域連携研修会」「地域コーディネーター養成スクール」「新潟県コミュニティ・スクール研修会」「地域とともにある学校づくり研修会」の4つを研修の柱としました。

5月に開催しました「地域連携研修会」は、令和元年度に担当教員の校務分掌を初めて経験する教諭（新潟市を除く）を主な対象に、中越・下越の2つの会場で実施し、合計49名の参加がありました。講師に、新潟市食育・花育センター長の真柄正幸様をお迎えし、講義及びワークショップを通して、具体的で実践的な御指導をいただきました。

「地域とともにある学校づくり研修会」は、新任の校長先生（原則参加）、希望する教頭先生、希望する行政関係者を主な対象として、7月下旬から8月上旬にかけて、上越・下越・佐渡の3つの会場で実施します。内容は実践発表と講演です。当日の講師は、文部科学省中央教育審議会委員を務められている、千葉敬愛短期大学学長の明石要一様です。

地域との連携・協働を確かなものとする社会に開かれた教育課程を編成し、キーパーソンである地域連携担当教員等を生かすことは、地域とともにある学校づくりに不可欠です。また、管理職や行政担当者としてのリーダーシップとマネジメント力が求められます。追加の申込を7月18日（木）まで延長しましたので、多くの方からの参加をお待ちしています。

「新潟県コミュニティー・スクール研修会」は、7月18日（木）に妙高市教育委員会主催で行われます。また、「地域連携コーディネーター養成スクール」は今年度6回開催します。



「地域連携研修会 ワークショップの様子」



「地域連携研修会 講義の様子」





2019年度 基礎研修会

第1回目は、「学びの本質を問う」をテーマに、「誰のために、何のために学ぶのか～自分を見つめ、自分を生かす～」 「生涯学習によるまちづくり～協働を効果的に推進するための方策～」と題し、宇都宮大学 教授 佐々木英和 様から御講義いただきました。

「受け入れることの難しさ」を自覚することの大切さと、自分は「自身の合わせ鏡でもある他者」との関係の中で育ち学んでいることを実践を通して学びました。さらに、戦略明確化トレーニングシート（講師資料）を用いて、まちづくり推進のための戦略を洗い出す活動を行いました。各自が住まうまちの理想の社会と現実・課題を明確にした後、グループのメンバー全員が具体的方策をお互いに提示し合いました。まちづくりの基盤に「尊び合う人間関係」と「関心を持ち合う人間関係」があることを受講者全員で確認することができました。



【第1回目】

第2・3回目は、立正大学 准教授 高橋尚也様を講師としてお招きし、「コミュニティ心理学」「社会心理学」の立場から「コミュニティでの協働を支える社会心理的スキル」「調査研究法に基づくプログラム開発」等について学びました。

「科学的方法」に基づく理論と研究結果・実践は説得力があり、よりよいコミュニティづくりを進める職員の知識・理解を深める学びの機会となりました。さらに、多様な住民を受け入れる「共生社会」を実現するための行政の在り方を御教示いただきました。

また、行政職員には、調査法やプログラム評価を参考にしたり、活用したりすることが求められていることが分かりました。停滞している業務を改善するための方策を学ぶよい機会となりました。



【第2回目】

地域で家庭教育支援・子育て支援を始めてみませんか

家庭教育支援者養成研修会 ～ステップアップ講座～ スタート!!

研修会の目的は、地域の家庭教育を推進するために家庭教育講座等で活躍できる人材を育成することです。今年度は、魚沼市と燕市で行われています。第1回（6月）の研修会では、上越教育大教授 高橋知己様を招いて「学校と子どもの現状及び家庭教育支援のあり方」について御講義いただきました。第2回（7月）はF&Cヨシザキ代表 吉崎利生様から「家庭教育講座に役立つファシリテーションの技術」について、第3回（9月）はNPO法人 多世代交流館 になニーナ代表理事 佐竹直子様から「家庭教育支援ガイドブックを活用した講座づくり」について学びます。3回シリーズの研修会ですが、追加の申込みも可能ですので、県立生涯学習推進センターまでお問合せください。お待ちしております。



【第1回（6月）高橋先生の熱い講義】

メディア研修特別講演会の御案内

日時：8月20日（火）
 会場：新潟県立生涯学習推進センター
 （県立図書館複合施設）
 演題：情報モラル教材「SNSノート」活用術
 講師：塩田 真吾 様（静岡大学准教授）

日本でのスマートフォン使用率（2019年2月）は85パーセントで、年々増加しています。それにも関わらず、情報モラルへの関心が高まっています。特にSNSとの関わり方は、青少年の成長に影響を与えています。「どうすればいいんだろう？」と悩んでいる方も多いのではないのでしょうか。安全なインターネットの利用について、「SNSノート」の活用を基に考えてみましょう。静岡大学教育学部の塩田真吾様を講師に迎え、理解を深めます。

また、参加者間の情報交換を計画しています。情報交換を行うことで、生涯学習や学校教育の現場における取組の充実も図っていただきたいと思います。ぜひ、御参加ください。



入場無料

日程 2019年 8月20日（火）
 時間 13:30~16:30
 会場 新潟県立生涯学習推進センター 大研修室
 講師 塩田真吾様（静岡大学准教授）

講演内容
 ・情報モラルはどうやって身につく？
 ・「SNSノート」を、新潟でも活用しましょう！

申込み：ラ・ラ・ネット 問合せ：新潟県立生涯学習推進センター

TEL 025-284-6110

住所 〒950-8602 新潟市中央区女池南3丁目1-2

URL <https://www.lalanelt.jp/>



いきいき県民カレッジ 「成果活用促進」事業について

「いきいき県民カレッジ」に関しましては、これまで県民の皆様から多くの支持をいただいております。大変ありがとうございます。ところで、「いきいき県民カレッジ」から**オレンジ色の「活用手帳」**というものが誕生したのですが、御存じでしょうか。

この「活用手帳」は、県民の皆様のこれまでの学習の成果を、地域や次世代のために生かしていただくために設けられました。県立生涯学習推進センターでは現在、県民の皆様の学習の成果を生かした活動を応援して下さる公民館、図書館、学校、教育委員会等（以下、実施機関と呼びます。）を募集しています。具体的には、学習者の成果をいかせる場（＝成果活用の場）を設け、**活用手帳に押印していただける実施機関を募集**しています。詳しい実施要項を希望される機関は当センターまでお問合せください。



【オレンジ色の「活用手帳」】

「学び直し」リンク集を追加しました!!

センターホームページ「ラ・ラ・ネット」上で、**社会人の「学び直し」**を希望する方や関心のある方に、文部科学省の制度や県内大学等が社会人向けに行っている制度について、情報提供を行っています。早速、お問合せもあり、「学び直し」への関心の高さを感じます。詳しくはラ・ラ・ネットで御確認ください。





これからの上映予定 映画・ビデオ観賞会 季節の上映会

県民の皆様に気軽に映画を鑑賞していただくために、「季節の上映会（木曜 毎月2回）」と「映画・ビデオ鑑賞会（日曜 毎月1回）」を実施します。**無料・申込不要**で、どなたでも楽しんでいただけます。

日本や世界の名作、アニメ、時代劇などの劇映画の他、各種記録映像なども上映します。多くの皆様に、大画面で見る映像の素晴らしさを味わっていただきたいと思えます。



映画・ビデオ鑑賞会 上映開始：13時30分

7月28日(日)「吟選 大落語名人会」
8月25日(日)「笑う101歳×2 笹本恒子 むのたけじ」
9月29日(日)「NORIN TEN～稲塚権次郎物語」

季節の上映会 上映開始：13時30分

7月11日(木)「小三治」
18日(木)「三遊亭楽太郎十八番集」
8月1日(木)「日本のおぼけ話」(アニメ)
22日(木)「ウォーキングWITHダイナソーVOL.2」(吹替)
9月12日(木)「午後の遺言状」
19日(木)「黄金花」

会場：県立生涯学習推進センター 1階ホール

LLPC(Lifelong Learning Promotion Center) book (推進センター所長)

「システム思考」でとらえる現代社会の問題

6月、当センターにおいて「地域連携コーディネーター養成スクール」が実施され、講師の小見まいこさんが「システム思考」を演習で取り上げました。システム思考とは複雑な問題を捉える思考的アプローチです。個々の事象のもつ関係性に着目しながら、全体像を把握する思考法で「木を見て森を見ず」ということわざがありますが、個々の事象だけを捉えていては全体像を見誤ってしまいます。そこで、全体像とつながりをとらえるシステム思考は有効になります。小見さんが強調していたシステム思考の原則の一つは、問題が生じた場合は

「人(自己含む)や状況を責めない。問題を引き起こしているシステムや構造を責める」ことだそうです。その観点からみると、最近では悲惨な事件や事故が毎日のように報道されています。そこに至る個々の事案の検証はもちろん必要ですが、なぜ、そのような事が起こってしまったのか。社会構造やシステムに問題がないのか？という視点で考えてみることも大切だと感じます。そして、私は山積する現代社会の問題の背景には、他者への寛容さを示せず孤独や孤立を助長する風潮や社会的支援が十分でない社会構造のひずみが根底にあるように思えてなりません。みなさんは、どう思われるでしょうか？

新潟県生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」

<http://www.lalanet.gr.jp/>

<http://www.lalanet.gr.jp/m>(携帯版)



家庭教育・子育て電話相談「すこやかコール」

TEL:025-283-1150 FAX:025-284-6019

生涯学習相談・情報提供

TEL:025-284-6119 FAX:025-284-6019

Mail:lalasoudan@mail.lalanet.gr.jp

施設等の貸出

生涯学習に関係する機関・団体等へ施設・視聴覚教材の貸出を行っています。

貸出施設:ホール(186名) 大研修室(100名)
(視聴覚教材・機材の貸出しは原則登録が必要です。)



新潟県立生涯学習推進センター

新潟市中央区女池南3-1-2

TEL:025-284-6110 FAX:025-284-6019

Mail:nlpc@mail.lalanet.gr.jp

ホームページ:<http://www.lalanet.gr.jp/>

Twitter:http://twitter.com/lala_nlpc/

